

平成29年度第6回 名張市地域公共交通会議 事業推進部会 議事概要

日 時 平成30年3月19日（月）

午後1時00分より

場 所 名張市役所 303会議室

出席者：（敬称略）

（1）委員

中平 恭之 （近畿大学工業高等専門学校 准教授）
豊永 育子 （公益社団法人三重県バス協会）
姫野 光子 （名張市老人クラブ連合会女性部副会長）
田麿 雄一 （市民公募）
藤本 勝 （市民公募）
木寺 正仁 （市民公募）
勝木 祥文 （名張商工会議所総合商業部会長）
田中 明子 （名張市地域環境部部長）

（3）事務局

都市整備部都市計画室4名

1. 開会

2. 議事

（1）コミュニティバス利用環境の改善について

①コミュニティバス停留所の共通仕様について

（事務局より資料をもとに説明）

委 員 前回、標識を変える際に結構費用がかかるという意見がありましたが、注意書きの部分に「今後そのような変更も考慮しておいてください」といった一文を入れておいたらどうでしょうか。また、この仕様が絶対ではないということも記載しておいてはどうでしょうか。

事務局 2 ページの3 のところに停留所の整備に係る基本的な考え方という項目がありまして、そこにガイドラインができたことによって既存の標識をすべて変えなくてはならないということではないということを記載しております。その部分に、今いただいたご意見を反映させるということで考えさせていただきたいと思います。

委 員 今までは、停留所番号の表記がないので不親切だという意見が出ておりましたが、番号を入れてそこがその場所だという特定をしてしまったら、新設の停留所ができた場合に番号の統一性がなくなってしまうので、枝番を使う等、標記の方法について検討していく必要があります。

委 員 実際に停留所番号というのは日本全国の交通網で導入されていますが、基準はあるのですか。
部会長 特にはありません。

委 員 外国から来られた方が、駅名は分からないけれど番号で行けるということで導入されている

のだと思いますが。

部会長 基本的に都市部の場合は、バスを新設するというのはなかなかなくて、一度番号を決めてしまえば、バス停数が多いので、追加する場合は後ろの番号を間に入れるというやり方をします。中には、番号をずらしてシールを貼ってというやり方をするところもあります。

委 員 今提案いただいているのは、ナッキー号の名張市役所の停留所を N7 にした場合、こういう書き方、数え方でどうかという提案ですね。複数のコミュニティバスが乗り入れている乗継拠点において、ナッキー号を N7 にした場合、他の路線でも N7 にしないと、整合性を確保できないと思いますがいかがですか。

部会長 これは例を挙げているだけで、別の番号でもよいと思います。

委 員 コミュニティバスが合流している停留所では、全部統一した呼称にしないといけないと思いますが、その点はどうでしょうか。

部会長 それは間違いなくそうです。ただ、ナッキー号の N7 などを使いまわすのではなくて、拠点となるところはメインの停留所にもなるので、別の頭文字としてもよいと思います。

委 員 今、上のバス停名のところに N7 と番号を入れていますが、基本的にほぼ上の丸いところはなくならない限りはほとんど変わらないと思います。統一された番号等を入れていくのであればバス停番号はコースが変わると変わりますし、変更があるものは下の部分への記載になると思います。あと、バスマップと連携して、停留所のカラーとバスマップの路線の色を合わせるなどすれば分かりやすいと思います。

委 員 そもそもそういう呼称を付けること自体にどういう意味があるのか分からない。

部会長 外国人の方が来られた時とか、漢字をうまく処理できない方が来られた時等に番号の方が分かりやすいので、番号で識別してほしいということがあります。

委 員 ユニバーサルデザインの一つのあり方ということですか。

部会長 そうです。

委 員 これを利用する人たちもいるのですか。

部会長 実際にいらっしゃいます。

委 員 漢字が読めない子どもが単独で利用するときなどは役に立つと思います。

委 員 どこで降りたらいいか分からないけども、確か 7 番と聞いたなということで 7 番のところで降りるといったことも考えられるので、あったほうがよいと思います。

委 員 バスマップの停留所のところにも番号が欲しいですね。

委 員 大阪へ通っていた時に地下鉄で一斉に番号が振られたが、当時はこれは何なのかと思いました。国土交通省から通達があったのだと思いますが、日本人だけでなく外国人の方にとっても交通の利便性を高めるという意味があるのだと思います。

部会長 停留所番号を下に書くとすると、路線名も下になりますね。乗継拠点ではその停留所を利用するのは 1 路線だけではないので。拠点では標識はたくさん立てないですよ。

事務局 複数路線乗り入れている拠点については、大型の掲示板にまとめて掲示することを考えております。

委 員 名張市役所と名張駅と桔梗が丘駅にたくさん路線が集まっているということで、色分けで分かりやすいような形にすることはできるのですか。

- 部会長 できると思います。駅などの拠点では大型の掲示板が必要になると思いますが、2、3路線でしたら、1本で4面使える停留所標識もあります。
- 委 員 このガイドラインの適用については、標識の更新時に順次やりかえるということでしたが、それでは1年後になるのか2年後か、半年後か分かりませんが、ある程度の範囲の中で統一していかないと意味がないと思います。次に更新するときという3年後や5年後になる可能性もあるわけですから、そういう考え方では何のためにやっているのかという気がします。ですから、この取組のために予算化してやっていただけるとよいと思います。
- 委 員 名張市役所の前には5つの停留所が並んでいますが、それらをこの仕様に統一しようという考え方ですか。余計分りにくくなると思いますが。
- 事務局 市役所前や桔梗が丘駅、名張駅などの複数のコミュニティバスが乗り入れているところについては、停留所標識がたくさん立っているという時点で分かりにくいので、ガイドラインの3ページに大型掲示板の例を掲載しておりますが、こういった大型のものですべての路線を確認できるようにしていきたいと考えています。
- 委 員 停留所番号を付けても、車内のアナウンスや電光掲示がない路線もあるので、そういった路線では意味がないのではないかと思います。
- 委 員 アナウンスのない路線があるのですか。
- 委 員 一部路線であります。
- 委 員 そうすると普段から利用して分かっていて降りられるけれども、観光客や地域外の方はとても利用しにくいと思います。
- 委 員 要はサービスが統一されていないということですね。停留所の仕様よりも、車内の案内がバラバラで、案内すらないところもあるということの方が重大な問題だと思います。
- 委 員 運転手が案内をしゃべると交通法規上問題があるのですか。
- 部会長 特に問題はないと思います。
- 事務局 はたっこ号では運転手がアナウンスをしています。
- 部会長 全国各地の事例を見ていると、アナウンスのないバスはたくさんあります。
- 委 員 今までそれで苦情はなかったのですか。
- 委 員 コミュニティバスはあまり外部の人が乗らないからだと思います。地域の人が乗っている分には支障がないので。
- 委 員 利用していただく方を増やすというのがもともとの目標ですから、そのためにどういうやり方あるかということを考えるのが事業推進部会の役割になっています。現在、各コミュニティバスの運営主体も乗客をどうやって増やすかということ、自分たちは自分たちの目線で考えているし、利用者の目線としてはこの部会で考えているので、そのバスをいかに利用しやすくするかという視点で考えていくと、マップがないから利用しにくいのではないかという話が出てきて1年かけて検討してきましたので、ぜひともよろしくお願いします。
- 委 員 地域公共交通連携協議会でも、コミュニティバスを運行する主体として、利用者を増やすために何か工夫をしなければと考えていると思いますが、こういったデザインの統一や車内でのアナウンスの方法等について話し合いはされていないのですか。
- 事務局 連携協議会では、現在、乗継時間調整等による利便性の確保を中心に検討いただいております。

- す。利用者目線に立った分かりやすい停留所標示については、この部会の取組として検討いただいておりますので、取りまとめのうえ、連携協議会へ提案していきたいと考えています。
- 部会長 連携協議会では乗継設定している部分でも乗継の間隔がつまり過ぎているところがあるので、そういったところを時間調整したら他への影響はどうかとか、近鉄ハーベスが撤退するので、撤退後に路線をどうするのか、どこでどう乗り継げばよいのかといったことを検討しておりまして、この部会で検討しているような話は現時点では出ておりません。それぞれのバスがどう連携できるかということで、まずは乗継から検討しています。
- 委 員 これまでからコミュニティバスがそれぞれの地域で走っていたけれども、横との連携にあまり着目していなかったということで、今スタート地点に立って、これから取組を進めていくということでご理解をいただければと思います。
- 部会長 先ほどのサービスの話もそうですが、各運営者がそれぞれに検討して決めていたので、料金もバラバラであり、それではだめだということで、今はダイヤの検討をしていますが、その後はサービス水準をどうしていくのかという話になっていくと思います。
- 委 員 そういう方向になっていくというのはよいことだと思います。今さら言っても仕方がないことですが、運行し始めて長いところで 10 年、一番新しいところで 4 年ぐらいですが、歴史をずっと積み重ねてきた中で、そういった取組がなぜこんなに遅いのかと思います。
- 委 員 潤沢な資金がある状況であれば話の進みが早いのもかもしれませんが、私も委員として 2 年関わっていますが、バスマップができているなど、大きな進化だと思いますし、バスマップがあるのとないのとで、マップの飲食店を見てバスに乗って行ってみようと思いますし、成果が上がってきていると思います。介護の仕事をしていますので、このマップを見ておじいちゃん、おばあちゃんを連れて利用してみようかと思っています。このマップを見るだけで可能性が広がってくるので、素晴らしいものだと思います。

②乗継拠点における利便性の向上について

(事務局より資料をもとに説明)

- 部会長 このおでかけ時刻表を単独で配るのではなく、例えば名張駅東口発の分を見てもらうと、これはあくまで主要施設行きの発車時刻になっているので、配布するなら本来の時刻表とセットで配らないと混乱してしまうのではないのでしょうか。初めて見た人は、これだけしかバスがないと思ってしまいます。
- 委 員 一見ただけでは正直なところ分かりにくいと思いました。
- 部会長 例えば名張駅東口発でしたら、市立病院に行くのであればこれだけの便があって、出発時刻、到着時刻はこれですよということです。
- 委 員 お出かけ時刻表の各目的地の後ろに「行き」の文字を付け足した方が分かりやすいと思います。
- 委 員 「〇〇行き」よりも「〇〇へ行くには」のように、もっと簡易な表現にした方が利用しやすいと思います。私がバスで不安を感じるのは帰りの便が何時にあるのかということなので、この情報もできたら 1 ページの中に入れていただきたいと思います。あと、到着時間を書く

よりも何分ぐらいかかるのかの所要時間を書く方がいいのではないかと思います。到着時間を書いているとかえって見にくくなると思います。

部会長 団地内の循環などでは、右回り左回りによって所要時間が変わったりもしますので、そのあたりも考慮する必要があります。

委員 都会のように5分に1本便があるようなところならそういった表記で良いと思いますが、名張市の場合は時間の表記でよいと思います。

部会長 東まわりおよそ何分、西回りおよそ何分といったことをどこかに記載しておくとういかもしれませんね。

委員 出発と到着という表になっていますが、途中で降りたい方にはこの表では分かりにくいですね。途中のバス停に用事があるけども、そこには何時ごろ着くのかということが分かりにくいです。バス会社の時刻表であれば停まるバス停が縦に並んで、時刻がその横に入っています。

事務局 このお出かけ時刻表については、バス発着の多い主要な拠点から、ご利用の多い主な目的地を何カ所か抽出させていただき、そこへバスで直接行くにはどういう便がご利用いただけるのかということを一覧としてお示しすることによって、複数の停留所標識を見比べることなく一目で見ていただき、利用者の利便性を高めるということを目的に作成させていただいたものです。

部会長 連携協議会の方で拠点を作ろうという話がありまして、最初は名張駅と桔梗が丘駅ぐらいでしたが、市役所、病院、アピタといった乗降の多いところも入れて、そういった拠点における目安になるようなものをまず作ってはどうかという意見がありまして。

事務局 目的別時刻表の出し方についてご意見をいただきましたかったのはそういうところでございます。時刻表のサブとしての使い方を想定しています。ですので、病院へ行きたい人は病院行きを見ていただいて、病院へ行けば同じように病院のバス停にも病院から市役所や駅へ行くための乗り方提案が並んでいて、自分の必要なものを取って見ていただくというふうにしないと、掲示してしまうとそれがすべての便だと勘違いされる恐れがあります。要は、目的に対するアシストをするものとして活用していただきたいと思います。

部会長 「主要施設間発着表」など、表のみだしを考えていただきたいと思います。

委員 高齢者には分かりにくいので、はっきりと分かりやすく表示していただきたいと思います。

委員 一枚もののリーフレットとして活用するのか、冊子にしてしまうのかどうでしょうか。

部会長 委員の皆さままでご検討いただきたいと思います。

委員 今の話の中では、リーフレット使用で自分の目的に合わせたものを選択してもらうのが一番効率がよいと思います。

委員 この時刻表の出発点はほとんどが駅ですが、サラリーマンの場合は生活の中で駅の利用が多いですが、普通に暮らしている人は何も駅に行く必要がないわけで、駅が拠点であるかのようなダイヤの考え方は一般住民の考え方とは違うのではないのでしょうか。

部会長 これはダイヤそのものを考えているわけではないです。今、バスのダイヤについて名張駅の接続はこうなっていますというのを示しているだけで、ダイヤは各コミュニティバスの運行協議会が考えていることです。

- 委員 先ほど帰りも載っていればいいという意見がありましたが、それは少し違うと思います。どこ行きがどれだけあるかということが一目で分かりますし、帰りについては行先で確認するという使い方でもいいと思います。あと、行先の後に「行き」が付いていれば十分です。
- 委員 このマップは乗継ではなくて、この場所へ行くにはこれだけの便があるというものだと思います。
- 委員 名張駅の乗場のところにこれが1枚置いてあれば、市立病院へ行きたいのであれば、現在時間からみてこのバスに乗れるなといった使い方をしてもらえばいいということですね。
- 委員 しかし、途中で乗降する人には、逆に言えば何も資料がないということですね。
- 委員 よく使うところであれば、乗換えの時刻を自分でつけておけばいいと思います。そこまで細かくて誰が見るのかというほど資料があってもしょうがないと思います。ちょっと考えすぎ、頼りすぎだと思います。この一覧には基本的な事が整理されていれば、後は使う人たちが考えるべきだと思います。
- 委員 ある程度の情報は提供しないといけないと思います。ただその使い勝手を良くするのは自分でカスタマイズする必要がありますが、少なくとも乗場の情報ぐらいは必要ではないかと思います。
- 部会長 どのあたりまでこういった情報を流していくのか、乗換え情報を全部提供するのであれば、資料が膨大になってくるので、とりあえず何か情報を絞ってやっていかないと全部はできないと思います。連携協議会の方でそういう話が出たので、今回は主要施設における発着時刻の一覧表を事務局から提示いただいたということです。先ほど委員がおっしゃっていたとおり、情報の出しすぎもダメだということが分かっています、どのあたりまで情報を提供していくかということもしっかり考えていかないとよい混乱を招いてしまいます。
- 委員 市民の日常の利用は駅からではなく自宅の最寄りのバス停になりますので、駅に掲示するものとしては観光向けにした方がよいのではないのでしょうか。
- 委員 観光向けにすると、バスがそれほどないので現状の半分程度の情報量に収まると思います。
- 委員 これだけの情報量なら、インターネットで情報を流してくれた方がありがたいと思います。
- 委員 イオン名張店へ行くのに、名張駅まで行ってその先でタクシーを使わなくても、ほんとバス錦がこれだけ運行してますよという程度に使ってもらえばという段階です。いままで桔梗が丘駅で降りて、近鉄プラザでお買い物をされていた方が、プラザの閉店を受けて名張駅まで出てくれば、例えば大和龍口行きのほんとバス錦に乗ってもらえばイオンの前でそのまま降りれますよとか。あと、近鉄プラザでお買い物されている方は、駅に近いというのが魅力だったようで、閉店したらどうなるのかというのが地域の皆さんの懸念材料になっていますが、例えばアピタへ行きたければアピタ行きのバスが桔梗が丘駅から出ていますといった使い方があると思います。
- 委員 この資料は、拠点からどこへどういう便が出ているか、運賃がいくらかということが分かるのでいい資料だと思います。
- 委員 乗継まで入れようと思うと複雑になりすぎますね。実際に乗り継いで利用されている方がどれだけいるのかということと、それを理解しながら使っていくというのは難しいと思います。
- 部会長 電車でもそうですね。携帯電話で調べたりしないと、自分でいちいち時刻表を見ないですか

ら。

委 員 電車の乗継は、目的地と到着時間を入れればすぐ出てきますよね。最終的にはそこだと思います。

部会長 バス路線網の検索システムも出来つつあります。ただ、バスはコミュニティバスまで含めると時刻がよく変わってしまうので、そのあたりをどうするかの問題はあります。あと、時刻表の空きスペースの活用方法についてご意見はありませんか。

委 員 この時刻表を市が発行するのであれば、近隣の病院等の施設から広告料をいただいて広告を入れるというやり方もあると思います。

(2) お出かけバスマップの作成について

- ・はたっこ号乗込み調査結果について

- ・ワークショップ（2回目）の開催について

（事務局より資料をもとに説明）

委 員 この飲食店情報というのは、お店の名前は仮定で出しているのですか。

事務局 そうです。はたっこ号沿線で、バスが運行している時間に利用できる店舗を停留所からの徒歩時間の短い順にあげています。

委 員 飲食店情報は無料で載せるのですか。

事務局 バスマップは地域での発行になりますので、どの店舗を載せるかということをはじめ、掲載許可や協賛金を募るということは地域の運行協議会で検討いただきたいと考えています。

委 員 事業主体である美旗地域コミュニティバス運営審議会の連絡先が書いてありますが、問い合わせの電話等があった時に繋がらないと苦情の原因になったりということも考えられますがいかがでしょうか。

事務局 事務所は地域の市民センターになりますので、電話には出ていただけるとと思います。市民センターの開いている時間帯を入れておけばよいかと思います。

委 員 なぜ問い合わせ先にタクシーが記載されているのですか。

事務局 問合せ先としてではなく、利用できる公共交通機関の一つとして記載しておりますが、枠がくっついているのはおかしいので離すようにさせていただきます。

委 員 マップの裏面の情報には、はたっこ号に関するところがすべて網羅されているし、問合せ先も掲載されており、すごく行き届いたものになっていると思います。

委 員 医療施設ガイドの中に「美旗武田歯科」が入っていないが、バスの最寄り施設ではないので載せないということかと思いますが、そこは調整した方がよいのではないかと思います。

事務局 こういう情報を載せてはどうかという提案をさせていただいているのであって、どの施設を載せるか、協賛金をどうするのかといったことは地域の運行協議会で判断いただきたいと考えています。

委 員 提案であっても載せていない状態で提示するのはどうかと思います。載せてある情報を取捨選択するのは地域であっても、提案の中に最初から含まれていないのはまずいのではないかと思います。

- 事務局 最終的に提示案とするときには、具体名ではなく「〇〇〇〇」といった形で提示させていただきます。
- 委員 その方がよいと思います。マップの方に載っている医療機関と裏面の医療施設ガイドの医療機関との整合をとっておくべきだと思います。
- 委員 裏面の情報の中で他のコミュニティバスには運賃が記載されていますが、はたっこ号には記載されていません。表面には記載がありますが、裏面の部分にも他のコミュニティバスと同じように運賃を記載しておく方がよいと思います。
- 部会長 一つ気になったのですが、色覚障害の方への対応はどうするのでしょうか。また、細かいことになりますが、裏面について紙を半分に折った時に折目がキリのいい真ん中部分になるように調整した方が見やすいと思います。
- 事務局 色覚障害の方への対応については、先の議題の停留所のガイドラインの中でも一部触れておりますが、はたっこ号の2系統の色を赤と青にしておりますのは、色覚障害の方でも赤と青の区別はつきやすいということからそのように対応しております。
- 委員 この路線図は桔梗が丘駅が中心になっていますが、名張駅はどうなるのでしょうか。
- 部会長 今回はモデル地区としてはたっこ号に絞ってバスマップを作成しています。これであまりいきそうだなれば、他のコミュニティバスについても順次考えていくことになります。
- 委員 バスマップの路線図にある白いバーは何ですか。
- 事務局 折り返して往復する部分について、往路、復路ともに停車する停留所で本来ならば二つの〇が付くところをバーとしてつないで表示しています。
- 委員 マップに方位は書かないのですか。
- 部会長 マップ自体が略図になるので、方位は書きません。
- 委員 停留所に番号を付ける場合、2系統とも続けて連番を付けることになるのでしょうか。新設の停留所ができた時には、マップ上のどの位置かに関わらず、連番の最新の番号を付けるということではよろしいですね。
- 委員 そういう事例が重なって分かりにくい状態になれば、全体を改定すればよいのではないのでしょうか。
- 委員 番号を付けた方がよけい混乱するのではないかという気がしてきました。あまり番号の意味がなさそうな気がします。
- 委員 コモコモ号の時刻表の中で、空欄があるのはどういうことですが。また、はなの里前でコモコモ号が走っていくのをよく見ますが、ほとんど利用者を見かけません。
- 事務局 コモコモ号は葛尾方面と鵜山方面の2系統あり、曜日によって系統を分けているため空欄となっている部分があります。また、旧村落部分の利用者は少なく、さつき台から桔梗が丘駅への利用が多く見られるため、はなの里前では利用が少なく見えるのではないかと考えられます。
- 委員 先ほどから停留所番号の話が出ておりますが、番号については今後検討を進めていくということで、今回についてはシンプルなものではないかと思います。
- 部会長 新規需要の開拓ということで最近よく言われているのが、バスに乗ってどこに行けるか分からないというのが結構ありますので、飲食店情報だけでなくバスで行ける施設を入れること

によって利用される方が増えるかもしれません。飲食店に限らず、ちょっとした買い物のできる施設などへのバス停からどれぐらい歩けば行けるのかということ載せておけば親切だと思います。今利用している方は、概ね目的地が決まっており、どこに行けるのかというのをご理解いただいています。新規需要の開拓といった意味ではどこに行けるのかというのを分かるようにすれば、多少なりとも利用促進になるのではないかと思います。

委員 このバスマップをどのくらいの頻度で発行するのかは分かりませんが、発行のつど掲載する情報飲食店にしたり、病院にしたりということを変えていってはどうですか。

委員 飲食店情報に写真を入れていますが、写真がなければ倍の情報を載せられると思います。

委員 写真がある方が興味をそそると思います。

委員 タウン情報を掲載することによって、地域に興味を持つきっかけになってよいと思います。

(3) その他

委員 公共交通会議に参加しながら、並行して「市民の交通をよくする会」という有志が集まって活動をしています。前回の会議で報告させていただきましたが、2月8日に市議会へ請願書を提出させていただきました。表題は、「名張市における公共交通システムの再構築を要望する請願書」として、請願書の内容としては、整合性が乏しいと言わざるを得ない現在の公共交通システムを、市民の誰もが納得する経済的で合理的で整合性がある新たな公共交通システムに一刻も早く改善されることを強く要望しますということです。この請願を出すにあたって、6会派のうち5会派の議員にお会いして考えをお聞きしました。議員の皆さんも問題意識を持たれていて、今の公共交通システムを見直すべきではないかというお考えでした。ダイヤの問題にしても、6つのコミュニティバスに加えて三重交通が入り乱れて運行しているので、整合性を持たせた方がいいだろうということで、市会議員の方も同じ問題意識を持っておられました。この請願が、3月の第379回定例会において採択されました。ですから、議会としては公共交通システムの再構築をするべきだということにあるのではないかと思います。もうすぐ市長選も予定されており、新しい市長がどういう考え方をするかは見えていませんが、市長の考えと市会議員の皆さんの考えが一致してくればこの方向に行くことになると思います。これまで私たちが公共交通会議で検討してきたことが生かされるようにすべきだし、していかななくてはならないと思います。そういう動きがあるということを皆さんにお知らせさせていただいた方がよいかと思ひまして、お話をさせていただきました。

部会長 それではこれにて平成29年度第6回名張市地域公共交通会議事業推進部会を終了いたします。ありがとうございました。